

## 資料 1 第 1 回検証委員会のまとめと今後の方針について

○条例の規定を検証するための「ものさし」がほしい

●検証にあたっての議論のポイント（ものさし）

【市民にとって】

条例がまちづくりに関わる主体性・能動性を後押しするものとなっているか

【行政（市職員）にとって】

まちづくりの理念を持ちながら職務にあたることができているか

条例を「まちづくりのルール」と意識して職務にあたるできているか

○「発見する」段階がないと人は動かない

○条例は「理念」であり、「発見」のレベルは個別・具体の活動の中にある

●検証の方法

「条例の内容（規定）」と「個別・具体の活動」との比較



条例は「まちづくりの理念」と「個別・具体の活動」とをつなぐもの

条例は個別・具体の活動を後押しできるものとなっているか

条例によってまちづくりに人を巻き込むことはできているか

条例に不足している内容はないか

個別・具体の活動（取組事例）

- ・校区コミュニティ（防災訓練・松林清掃活動）
- ・市民活動団体×個人ボランティア（SON福岡×玄界高校生）
- ・道の駅整備検討（意見募集・タウンミーティングによる市民参画）
- ・子どもわくわくフェスタ（実行委員会による市民と行政との共働）

- ・検証委員の皆さんによる事例紹介